

株式會社麻生商店朝鮮人鑛夫労働争議

八月十五日より九月三日に至る二十日間に亘りての本争議は、麻生商店最初の争議なるのみならず、筑豊に於ける初めて朝鮮人鑛夫の争議として注目せられ、其の参加数は同會社所屬朝鮮人坑夫千余名中約四百名に達したのである。而して争議中會社側や警察官との衝突事件を惹起したるのみならず、日鮮融和上由々數問題にして、筑豊炭山八千の朝鮮人稼働者の爲めなりとして争議反對を叫んで立つた相愛會との闘争があり、且つ争議發生以來會社側が争議團指導の日本労働總同盟九州聯合會の介在接衝に應ぜずと主張し互に譲らず、遂に之が爲め十六日間は勞費双方相對峙して其の間一回の會見も行はれなかつたのである。かくて本争議は筑豊の顔役にして同會社の勞務主任たる田申幸太郎氏の調停にて解決したる等、色々の點に於て注目せ

られたのであつて以下即ち其の概況である。

争議の概況

- 一、名稱 株式會社麻生商店
- 二、所在地 福岡縣飯塚市立岩
- 三、資本金
 - 公稱 一五、〇〇〇、〇〇〇圓
 - 拂込 一一、七〇〇、〇〇〇圓
- 四、代表者 社長 麻生太吉氏
- 五、事業種別 石炭鑛業
- 六、争議關係炭鑛
 - 山内炭鑛 飯塚市下三緒
 - 上三緒炭鑛 同 市上三緒
 - 吉隈炭鑛 嘉穂郡桂川村吉隈